

☆新型コロナウイルス感染症対策について！☆

「密」を避けて気持ちよく買物をしていただくために

○一人一人の気づかいで、できるだけ「密」を減らし、気持ちよく買い物をしましょう。

○従業員から、レジ待ちなどの買物の仕方をお願いする場合がありますので、消費者の皆様も、ぜひご協力をお願いします。

お店での滞在時間をできるだけ短くしましょう。

「お買物メモ」を準備するのも役立ちます。



できるだけ少人数で買物に行きましょう。

荷物の量などに応じて、ご検討をお願いします。



Super Market

混雑を避けて買物をしましょう。



混んでいる時間帯を避けることも有効です。

買物をするときのお願い

○食料品は、十分な供給量を確保していますので、安心して、落ち着いた購買行動をお願いいたします。

○買物をするときには、**感染予防**に加え、**他の方に感染させない気遣い**も必要です。
お店によっては、**買物の仕方などを制限**する場合がありますので、ご理解・ご協力ください。

食料品は必要な分だけ買うようにしましょう。



食べきれずおいしくなくなったり、食品ロスにもなってしまいます。

買物の際には、咳エチケットを守り、前後に手洗い・消毒をしましょう。



日本の牛乳を救う「フラスワンプロジェクト」緊急スタート!

牛乳をもう(モ～)1杯。育ち盛りは、もう(モ～)1パック

緊急事態宣言の対象地域拡大によって、学校給食や外食産業における牛乳や乳製品の消費の更なる減少が懸念されています。

農林水産省は、酪農家を支えるため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費する「フラスワンプロジェクト」を2020年4月21日より開始しました。

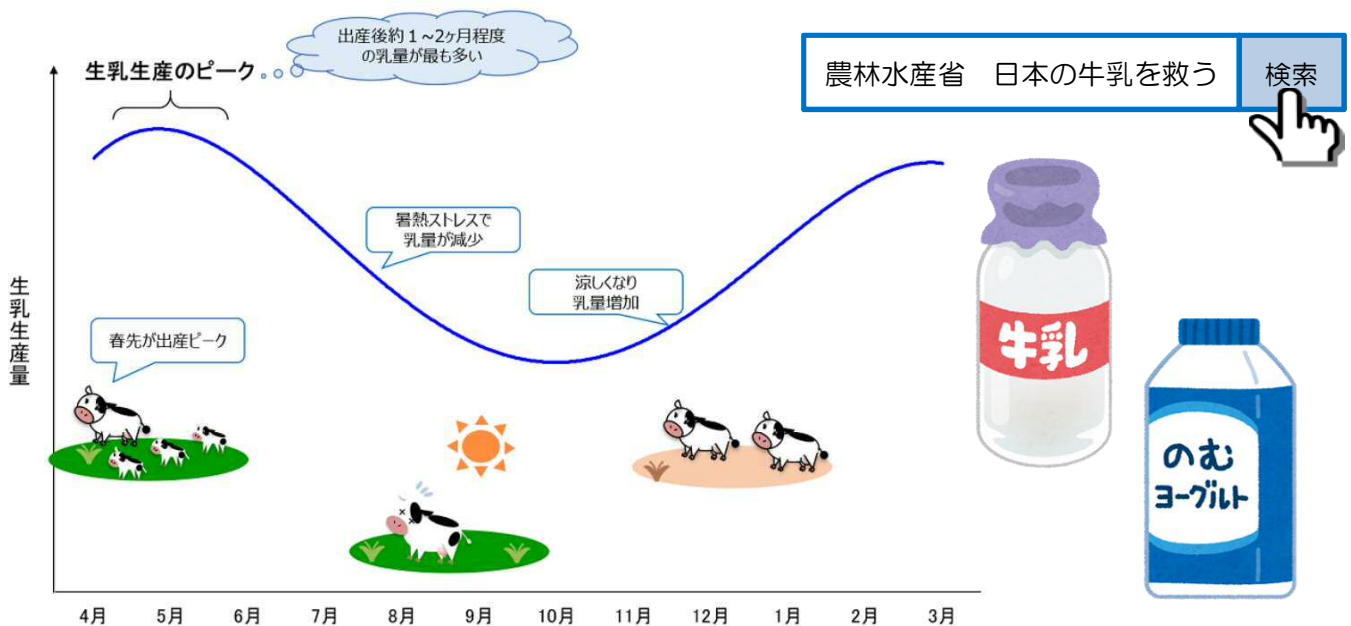
1.国内の牛乳・乳製品の需給状況

新型コロナウイルス感染症の影響による消費減退に対しては、牛乳をバターやチーズといった乳製品へと加工することによって、行き場を失う生乳が出ないよう、生産者団体と乳業メーカー、農林水産省が一体となって取り組んできたところですが、

しかしながら、4月7日の緊急事態宣言(対象:7都府県)及びそれに伴う休業要請を境に、カフェやレストラン、百貨店(スイーツ等)などの業務用の需要が大きく落ち込んでいます。さらに、4月16日には、緊急事態宣言の対象地域が全国へ広げられました。

今後、生乳生産が6月までのピークに向けて更に増加していく中、乳業メーカーの乳製品の製造能力を超えてしまい、行き場を失った生乳を廃棄せざるを得ない状況に陥るおそれがあります。

農林水産省としては、この6月までの生乳生産のピークを乗り切ることができれば、生乳の廃棄といった危機を回避できると考えています。



2.消費者の皆さんへのお願い

生乳生産にあたっては、乳牛の病気を防ぐため毎日搾乳し続ける必要があります、工場生産される産物と違って、生乳の生産量は短期的にはコントロールできません。

このため、生乳の廃棄といった食品ロスを生じる事態や乳牛を減らすことなく、この難局を乗り切るために、お買い物の際にぜひ、牛乳やヨーグルトを普段より1本、特に育ち盛りの方は更にもう1パック多く購入いただければ、酪農家への応援につながります。

ぜひ皆様方のご協力をお願いいたします。

お届け先の変更はお早め
にお知らせください!

(お問い合わせ先)

農林水産省九州農政局消費生活課

〒862-8527熊本市西区春日2-10-1

TEL 096-211-9111 (代) 内線4214 FAX 096-211-9700

